



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社アソインターナショナル 上場取引所 東
コード番号 9340 URL <http://www.aso-inter.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿曾 敏正
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 濱谷 雄二 TEL 03(3547)0471
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績（2025年7月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	1,000	9.2	150	10.6	151	38.8	110	40.1
2025年6月期第1四半期	916	6.3	135	36.5	109	11.3	78	79.1

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 113百万円 (44.9%) 2025年6月期第1四半期 78百万円 (70.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	11.24	11.03
2025年6月期第1四半期	8.04	7.88

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	3,300	2,935	88.9
2025年6月期	3,330	2,930	88.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 2,935百万円 2025年6月期 2,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	20.00	—	11.00	31.00
2026年6月期	—				
2026年6月期（予想）		12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年6月期の第2四半期末の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,013	5.7	746	13.3	725	14.9	504	15.0	51.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期1Q	9,790,200株	2025年6月期	9,790,200株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	50株	2025年6月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年6月期1Q	9,790,150株	2025年6月期1Q	9,768,580株

（注）2025年6月期1Q期中平均株式数（四半期累計）について、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、日米関税協議妥結により市場心理が回復しているものの、参議院選挙における与党の敗北により、先行きの経済動向に対する不確実性が高まる可能性があります。またウクライナ及び中東情勢の地政学的リスクも継続しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間におきましては、社会における審美的な意識の高まり、未病改善への取り組みの拡大、関連技術革新等を背景として矯正歯科業界の事業環境は引き続き順調に推移しております。

一方、2020年から2022年頃にかけては、特需により市場規模が急速に拡大いたしました。当該特需の反動もあり、現在は市場全体として安定的に推移しております。

当社グループにおきましては、一貫して顧客である歯科医療機関に対し高品質な矯正歯科技工物及び歯科用先端機材の提供、継続的歯科矯正技術の発信等を通じて顧客満足度の向上に努めてまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、主力商品のアライナー及びIDBブラケットの売上が好調に推移したことに加え、口腔内スキャナーや3Dプリンターなどデジタル商材の売上也堅調であったため、売上成長を後押ししました。

また、海外展開におきましては、アメリカの大学及び有力歯科医院の新規開拓、並びに既存ヨーロッパの市場の拡大に注力し、「中期経営計画2025-2028」の2年目に掲げた計画目標の達成に向けて着実に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,000,938千円（前年同期比9.2%増）、営業利益150,344千円（同10.6%増）、経常利益151,776千円（同38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益110,040千円（同40.1%増）となり、増収増益となりました。

当社グループの事業は、単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（売上高、売上原価、売上総利益）

売上高は、主力商品の受注が好調に推移したことに加え、デジタル商材の売上也堅調に推移していたため、前年同期比84,603千円増加し、1,000,938千円となりました。

売上原価は、主に商品や材料仕入、歯科技工士の労務費及び外注加工費を計上し、前年同期比38,610千円増加し、567,691千円となりました。

この結果、売上総利益は前年同期比45,992千円増加し、433,247千円となりました。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

販売費及び一般管理費は、前年同期比31,584千円増加し、282,902千円となりました。これは主に、営業部門や管理部門の人員の給料及び手当111,282千円、役員報酬16,371千円、運賃及び荷造費27,671千円を計上したことによるものであります。

この結果、営業利益は前年同期比14,408千円増加し、150,344千円となりました。

（営業外収益、営業外費用、経常利益）

営業外収益は、主に受取利息及び配当金1,434千円、受取地代家賃1,135千円の計上等により7,780千円となりました。営業外費用は、主に為替差損5,235千円の計上等により6,348千円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比42,461千円増加し、151,776千円となりました。

（特別利益、特別損失、法人税等合計、親会社株主に帰属する四半期純利益）

法人税等合計は、主に法人税、住民税及び事業税36,551千円の計上等により41,736千円となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比31,511千円増加し、110,040千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して30,526千円減少し、3,300,427千円となりました。これは主に、有価証券が500,000千円増加したものの、現金及び預金が552,690千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して36,115千円減少し、364,704千円となりました。これは主に、買掛金が21,860千円増加したものの、未払法人税等が54,019千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して5,588千円増加し、2,935,722千円となりました。これは主に、剰余金の配当107,691千円の支払があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益110,040千円の計上により、利益剰余金が2,348千円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は88.9%（前連結会計年度末は88.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期におきましても、社会における審美的な意識の高まり、未病改善への取り組み拡大等を背景として歯科矯正装置販売は堅調に推移するものと考えております。また、歯科矯正治療は現状過当競争となっている国内歯科医院業界へ安定した収益機会を提供できる一つの手段であるため、当社グループにとって、これからも国内事業環境は堅調に推移するものと考えております。

アライナーやIDBブラケット、リテーナーをはじめとする主力商品のほか、当社グループが提供する多種多様な歯科矯正技工物のニーズは引き続き高く、口腔内スキャナーや3Dプリンター等のデジタル商材の顧客への提案・プロモーション等と併せて、持続的な成長を目指してまいります。

また、アメリカ本土での販売を強化し、高品質・高付加価値の製品を継続的に提供することにより、当社グループの海外売上高をより一層拡大することを目指してまいります。

更に、グループ内での製造DX化に継続的に注力し、業務コストの削減による利益率の更なる向上を図ってまいります。

最後に、「中期経営計画2025-2028」の2年目にあたる2026年6月期は、オンライン受発注システムの再構築やアメリカでの販売チャンネル強化により事業拡大及びそれに伴う人員、製造キャパシティの更なる拡充に注力してまいります。

以上から、2026年6月期の連結業績予想としましては、売上高は前連結会計年度比5.7%増加の4,013百万円、営業利益は746百万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,945,343	1,392,653
売掛金	517,770	535,969
有価証券	—	500,000
商品及び製品	45,274	56,990
仕掛品	2,330	1,605
原材料	82,032	73,200
その他	42,902	51,286
貸倒引当金	△8,298	△10,585
流動資産合計	2,627,353	2,601,119
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,755	25,923
機械装置及び運搬具（純額）	41,475	37,825
その他（純額）	27,051	29,221
有形固定資産合計	94,282	92,971
無形固定資産		
ソフトウェア	33,568	30,495
無形固定資産合計	33,568	30,495
投資その他の資産		
投資有価証券	228,112	231,428
保険積立金	253,958	257,391
繰延税金資産	29,585	23,355
その他	89,593	84,439
貸倒引当金	△25,501	△20,773
投資その他の資産合計	575,748	575,840
固定資産合計	703,600	699,307
資産合計	3,330,954	3,300,427
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,062	140,923
契約負債	21,862	20,050
未払金	65,687	49,160
未払法人税等	95,740	41,720
賞与引当金	—	4,351
その他	85,894	95,918
流動負債合計	388,246	352,124
固定負債		
資産除去債務	12,573	12,580
固定負債合計	12,573	12,580
負債合計	400,820	364,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	356,589	356,589
資本剰余金	346,589	346,589
利益剰余金	2,243,286	2,245,634
自己株式	△32	△32
株主資本合計	2,946,433	2,948,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	3,677
為替換算調整勘定	△17,706	△16,737
その他の包括利益累計額合計	△16,299	△13,059
純資産合計	2,930,133	2,935,722
負債純資産合計	3,330,954	3,300,427

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
売上高	916,334	1,000,938
売上原価	529,080	567,691
売上総利益	387,254	433,247
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	102,849	111,282
役員報酬	17,421	16,371
運賃及び荷造費	27,083	27,671
貸倒引当金繰入額	39	2,665
賞与引当金繰入額	2,499	2,666
その他	101,425	122,246
販売費及び一般管理費合計	251,318	282,902
営業利益	135,936	150,344
営業外収益		
受取利息及び配当金	610	1,434
受取地代家賃	1,117	1,135
受取手数料	481	380
償却債権取立益	72	40
貸倒引当金戻入額	—	4,764
雑収入	249	25
営業外収益合計	2,531	7,780
営業外費用		
為替差損	24,749	5,235
支払手数料	451	792
その他	3,952	320
営業外費用合計	29,152	6,348
経常利益	109,315	151,776
税金等調整前四半期純利益	109,315	151,776
法人税、住民税及び事業税	25,219	36,551
法人税等調整額	5,567	5,185
法人税等合計	30,787	41,736
四半期純利益	78,528	110,040
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,528	110,040

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	78,528	110,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△471	2,270
為替換算調整勘定	96	969
その他の包括利益合計	△374	3,240
四半期包括利益	78,153	113,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,153	113,280
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	11,477千円	9,894千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年7月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは、「歯科矯正事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。